

なかつか 亮



住民と共産党の共同が力に

「23区で最低の福祉」改善へ



実現した主なもの (裏面に詳細)

- ◆高齢者の紙おむつ補助が増額&入院時支給が新たに実施
- ◆緊急通報システム利用料負担軽減
- ◆障害者の各種手当が増額
- ◆福祉タクシー券・燃料代が増額
- ◆認知症グループホームに家賃助成

「変えます 23区最低の福祉」大井町駅前にて

「この資料は本当か」
共産党が調査した「品川の福祉は23区で最低」について「この資料は本当か」との声が寄せられるなど大きな反響を呼びました。例えば「高齢者入院時、紙おむつ負担補助精度の未実施は23区で品川区のみ」「福祉タクシー代の支給月額2300円は23区で2番目の低さ」「知的4度、身体3級の手当は23区で2番目。

難病手当では最下位の23番目」「高齢者緊急通報システム利用料が品川区は23区で2番目に高額な自己負担。実は16区は無料(非課税世帯)」など。この資料を町会や高齢者クラブの会長に手渡すと、どこでも驚きの声があがりました。共産党は「区の財政は全国トップ。福祉は23区で最低とは、どういう事か！」と厳しく追及しました。裏へ

この力で、認可保育園・特養ホームの大幅増設にチャレンジ!

今年4月からの区新年度予算案に切実な住民要望が盛り込まれました。共産党は品川の福祉が他区と比べて「23区で最低」に遅れていることを告発。住民と共に改善への署名運動や区長・区議補選でも強く訴えてきました。

**補助増額、負担軽減が実現
住民福祉が大きく前進しました**

改善される福祉（主なもの）		現行	⇒	予算案	
高齢者紙おむつ支給					
	(入院時補助)	0円	⇒	5000円	月額
	(在宅の現物支給)	3138円	⇒	5000円	月額
緊急通報システム利用料(別途通信料が300~400円)					
	(住民税課税世帯)	1800円	⇒	1000円	月額
	(住民税非課税世帯)	500円	⇒	300円	月額
障害者手当					
	2種(知的4度、身体3級)	4500円	⇒	8500円	月額
	難病手当て	10000円	⇒	15500円	月額
障害者福祉タクシー券		27600円	⇒	42000円	年額
	同自動車燃料代	24000円	⇒	36000円	年額
認知症グループホーム家賃助成		0円	⇒	24000円	月額

財源示し、提案

品川区の各種福祉や自己負担額について、まずは他区並みに改善へ必要な年間予算は2億5千万円(党区議団調査)です。共産党は「777億円もの区基金のほんの一部や区税増収分(前年決算比)34億円でも実現可能」と財源も示し、提案してきました。

繰り返しの署名運動

区議会には「福祉タクシー券の増額」を求める請願署名が何度も提出。ところがその度、自民党はじめ公明党、民主党ら与党区議は反対し否決に。逆に「本当に最低なのか？」と区を擁護。しかし区は「区職員の研修や相談窓口の対応は優れている」と述べるなど、品

川の福祉の遅れを直接、反論できない事態すらうまれました。

今回の補助増額や負担軽減など「23区で最低」の福祉が一気に改善へ進んだことは、まさに住民運動と共産党の共同が、大きな力となり実った画期的な成果です。

ちなみにこれで品川区の福祉は「23区で平均ぐらい」。さらなる充実を求め、力を合わせましょう。

“あきらめない”

区民生活に必要な事は実現するまで頑張る。この“あきらめない”事が実現の大きな力です。この力で、全く足りない認可保育園・特養ホームの大幅増設で待機児・者ゼロに挑戦します。なかつか亮

その他、予算案に盛り込まれた主な住民要望 ◆防災備蓄倉庫増設、家具転倒防止器具設置補助の対象拡大◆南品川シルバーセンターに入浴施設◆劇団四季隣の区有地に保育園検討◆羽田増便対策へ騒音調査実施◆公共施設に雨水利用タンク設置◆大森水神口地下駐輪場設置◆山中小トイレ改修、大井第一小空調機改修、伊藤小太陽光設置、伊藤学園校庭人口芝生化(砂埃対策)、富士見台中体育館整備 など

次の『気軽な町の無料法律相談会』のお知らせ

2月27日(金) 午後6時~8時 場所:日本共産党なかつか亮事務所
 弁護士と一緒に相談会を行います。生活のこと法律のこと、お気軽にご相談ください
 連絡先 昼:区議控室 **5742-6818** 夜:事務所 **3773-3231**